SONY.

インジェストスケジューラ ソフトウェア

ユーザーガイド

ソフトウェアバージョン 1.0

PWA-ISC1

権利者の許諾を得ることなく、このソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびこのソフト ウェアを賃貸に使用することは、著作権法上禁止されております。

© 2017 Sony Corporation

ソフトウェアを使用したことによるお客様の損害、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負い 兼ねます。

万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。

このソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。

このソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

目次

| 概要 |
|---------------------------|
| 起動と終了5 |
| 起動する |
| 終了する |
| 操作画面 |
| メニューバー |
| スケジュール画面7 |
| サーバーパネル |
| ポートパネル |
| タイムライン |
| コントロールパネル |
| 操作手順13 |
| スケジュールを登録、転送する |
| 現在時刻からスケジュールを登録、転送する14 |
| スケジュールの転送を中止する 15 |
| 過去のスケジュールを編集、再転送する 15 |
| 現在時刻を含むスケジュールの終了時刻を編集する16 |
| 未来のスケジュールを編集する 16 |
| スケジュールを削除する17 |
| 設定 |
| メンテナンス |
| 付録 21 |
| 商標について 21 |
| LGPL 適用ソフトウェアの入手について |

概要

インジェストスケジューラソフトウェア PWA-ISC1 は、マルチポート AV ストレージユニット PWS-4500 で記録した素材の中から必要な部分の素材を切り出し、ネットワークドライブ上の外部ストレージに転送するためのスタジオ収録/転送用ソフトウェアです。

PWA-ISC1では、切り出し/転送する部分をスケジュールと呼びます。スケジュールは、記録済みの時間帯だけ でなく未来の時間帯も指定できます。記録済みの時間帯から転送が開始し、未来の時間帯を指定したスケジュー ルは、その時刻になり PWS-4500 で記録が開始すると転送が開始されます。

起動と終了

起動する

PRC Manager、Media Gateway を起動し、本ソフトウェアをインストールした PC のデスクトップ上にある [PWA-ISC1]のショートカットをダブルクリックします。

ループ記録設定のポートの記録を開始し、本ソフトウェアの画面が起動します。

ご注意

- PWA-ISC1 を起動するには、PRC Manager があらかじめ起動されている必要があります。PRC Manager の起動方法 については、本ソフトウェアのインストレーションガイドをご覧ください。
- Media Gateway の起動方法については、PWA-MGW1 のインストレーションガイドご覧ください。

終了する

メニューバーの[File]-[Exit]をクリックします。

ご注意

本ソフトウェアを終了しても PRC Manager が起動している場合は、転送中のスケジュールは転送が継続されます。また、未 来の時間を指定して登録したスケジュールは、設定時刻になると処理を開始します。

操作画面



メニューバー

メニューバーには3つのメニューが表示されます。

[File]

- [New schedule]:スケジュールを新規作成します。
- [Exit]:本ソフトウェアを終了します。

[Tools]

- [Settings]: [Settings]ダイアログで本ソフトウェアの設定をします。
 詳しくは、「設定」(18ページ)を参照してください。
- [Maintenance]: [Maintenance]ダイアログでサーバーの容量を回復するための設定をします。
 メンテナンスを実行すると、サーバーは記録を中止して[Recover storage capacity]機能を実行します。

詳しくは、「メンテナンス」(20ページ)を参照してください。

[About]

[About Ingest Scheduler]: [About Ingest Scheduler]ダイアログに本ソフトウェアのバージョン情報が表示されます。

スケジュール画面

スケジュール画面は、サーバーパネル、ポートパネル、タイムライン、コントロールパネルから構成されます。 1 つのポートのポートパネル、タイムライン、コントロールパネルを合わせてトラックと呼びます。



ご注意

- 接続しているサーバーのポートが通常記録モードの場合、そのポートは無効状態となり操作できません。
- マスターTCを取得しているポートのサーバーと異なるシステム周波数のサーバーを接続している場合、そのサーバーは無効状態となり操作できません。(TCアイコンによるマスターTCポートの切り替え、サーバーパネルの開閉、ポートパネルの開閉のみ可能)

サーバーパネル

Media Gateway などで設定したサーバー名が表示されます。

ご注意

本ソフトウェアとサーバーのネットワークが切断された場合や、本ソフトウェアがサーバーを認識できない場合、そのサーバーは表示されません。

ポートパネル

サーバーのポート情報を表示し、スケジュール登録を行います。



⁽⁶⁾⁽⁷⁾

(1) 開閉ボタン

ポートパネルの表示を縮小または拡大します。縮小時はポート名、プロキシポート名(プロキシポート設定 を行っている場合)、ポート選択チェックボックスのみ表示されます。

(2) ポート名

サーバー上のポート名を表示します。

クリックするとポート名を編集できます。(上限8文字)

(3) プロキシポート設定ドロップダウンリスト

プロキシデータの転送を行いたいポートを選択できます。選択したポートのトラックは非表示となり、転送に 関する情報はプロキシポート設定を行ったポートのトラックに表示されます。

プロキシポート設定を行わない場合は、[None]を選択してください。

プロキシポート設定を行うと、本ポートのスケジュール情報でスケジュールが実行されます。

ご注意

- プロキシポート設定を行った場合は、ドロップダウンリストで選択したポートに登録していたスケジュールは削除されます。また、転送中のスケジュールは転送が中止されます。
- プロキシポートの記録可能な残り時間が、本ポートより多くなるようにしてください。プロキシポートの残り時間の方が 少ない場合、プロキシポートでの記録が最後まで行われないことがあります。
- (4) ポート選択チェックボックス

スケジュールを作成するときに、対象とするポートのチェックをオンにします。 チェックをオンにしたポートはタイムラインヘッダーの[+](新規スケジュール)ボタンまたは[File]–[New schedule]からスケジュール登録をするときに設定対象となり、[Schedule]ダイアログの[Ports]リスト のチェックがオンになります。

- (5) [+](新規ポートスケジュール)ボタン
 ボタンのあるポートのみを対象としたスケジュールを作成します。
 クリックすると[Schedule]ダイアログが表示されます。
- (6) 記録インジケーター

記録の状態を示します。

記録中はインジケーターが赤く点灯し、記録停止中はインジケーターが消灯します。サーバーがループ記 録設定の場合は、消灯時にインジケーターをクリックするとループ記録が開始します。点灯時にクリックして も記録は停止しません。 ご注意

本ソフトウェアから接続するサーバーの記録を中止することはできません。

(7) TC アイコン

各ポートに入力されているタイムコードの状態をアイコンで示します。また、マスターTCを別のポートに入力 されているタイムコードに変更することができます。

本ソフトウェア起動時は、最初に認識したサーバーの最上部にあるポートに入力されているタイムコードが 自動的にマスターTC となります。

- : - TC
- 8:マスターTC と同じタイムコード
- 22:マスターTC と異なるタイムコード

タイムライン

現在時刻の表示、サーバーの素材情報の表示、登録したスケジュール情報の表示または管理を行います。 表示範囲は拡大/縮小することができ、最大で未来7日間+過去7日間+現在日付の15日間分を表示でき ます。

タイムラインヘッダー



(1) 指定日時のタイムラインの表示

日時を指定して、その時間帯をタイムラインに表示します。 リストボックスから日付を選択し、テキストボックスにタイムコード「hh:mm:ss」(時:分:秒)を入力して、 [Go]ボタンをクリックすると、設定したタイムコードがタイムラインに表示されます。 このとき、[Lock current TC]チェックボックスがオンの場合は、自動的にオフになります。

- (2) [+](新規スケジュール)ボタン
 スケジュールを新規作成します。
 ポートパネルでチェックを入れたポートが選択された状態で[Schedule]ダイアログが表示されます。
- (3) 現在の日付

- (4) 現在のタイムコード マスターTC の現在時刻を表示します。マスターTC のドロップフレーム/ノンドロップフレームに合わせて表 示形式を変更します。
- (5) [Wide] / [Mid] / [Narrow]ボタン
 すべてのポートの高さを一括で変更します。
- (6) [Lock current TC]チェックボックス 現在時刻を示すラインの動き方を変更できます。
 - オン:現在時刻を示すラインがタイムライン中央で固定され、時間の経過に従ってタイムラインが右から 左へ移動します。このとき、横スクロールバーを動かすことはできません。
 - オフ:オフにした時点で15日間分のタイムラインが固定され、時間の経過に従って現在時刻を示すラインが左から右へ移動します。
- (7) タイムラインの拡縮スクロールバー タイムラインの表示を拡大または縮小できます。



タイムラインの見方

(1) サーバー上の素材の有無

サーバー上に本ソフトウェアで利用できる素材がある時間帯を青い斜線で示します。 過去の時間を指定する場合は、このエリアでのみスケジュールの登録ができます。

(2) 現在時刻

現在時刻を青い線で示します。

現在時刻を示すラインは、[Lock current TC]チェックボックスのオン/オフによって動き方が変わります。

詳しくは、「タイムライン」の「[Lock current TC]チェックボックス」(10ページ)を参照してください。

(3) スケジュール

登録したスケジュールを表示します。次の情報が表示されます。

- スケジュール名
- スケジュールの日付
- スケジュール開始時刻のタイムコード
- スケジュール終了時刻のタイムコード
- スケジュールのデュレーション

• スケジュールの転送ステータス

転送ステータスは次の種類があります。

- Scheduled:スケジュールは登録済みだが転送していない
- Waiting:スケジュールの処理は開始しているが、転送は開始していない
- In-Progress: 転送が開始し、転送中である
- Completed:転送が正常に終了した
- Cancelling:転送中止を実行している
- Cancelled:転送中止を完了した
- Transfer Error:転送エラーが発生した(転送エラー時は、ステータスバーが赤色になります。)
- Rec Error:記録エラーが発生した
- ステータスバー
- (4) 現在の位置からスケジュールを作った場合のスケジュールの長さの上限 現在時刻を開始時刻に指定したスケジュールを作成した場合の、スケジュールの長さの上限となる時刻を 黄色の点線で示します。
- (5) サーバーの最大記録可能時間(24時間)

サーバーがループ記録を開始した地点から24時間目の時刻を赤い線で示します。

(6) メンテナンススケジュール

設定したメンテナンススケジュールを表示します。次の情報が表示されます。

- メンテナンスの日付
- メンテナンスの開始時刻のタイムコード
- メンテナンスの終了時刻のタイムコード
- メンテナンスのデュレーション

詳しくは、「メンテナンス」(20ページ)を参照してください。

コンテキストメニュー

スケジュールを右クリックすることで、次のメニューが表示されます。

- [Edit]:[Schedule]ダイアログが表示され、スケジュールを編集または再転送します。
 詳しくは、「過去のスケジュールを編集、再転送する」(15ページ)、「現在時刻を含むスケジュールの終了時刻 を編集する」(16ページ)または「未来のスケジュールを編集する」(16ページ)を参照してください。
- [Delete]:確認ダイアログが表示され、スケジュールを削除します。
 詳しくは、「スケジュールを削除する」(17ページ)を参照してください。
- [Stop]:転送中のスケジュールの転送を中止します。 詳しくは、「スケジュールの転送を中止する」(15ページ)を参照してください。

タイムラインの操作

トラックの上下移動
 タイムライン上でマウスホイールを回します。

- タイムラインの表示範囲の拡大/縮小
 - タイムライン上で[Ctrl]キーを押しながらマウスホイールを回します。
 - [Lock current TC]チェックボックスがオンの場合:現在時刻を中心にしてタイムラインが拡大/縮小します。
 - [Lock current TC]チェックボックスがオフの場合:カーソル位置付近を中心にしてタイムラインが拡大 /縮小します。
- タイムラインの左右移動

タイムライン上で[Ctrl]キーを押しながらマウスを左右に動かします。[Lock current TC]チェックボックスが オンの場合、タイムラインは移動しません。

コントロールパネル

本ソフトウェアと接続しているサーバーの操作や、記録可能な残り時間を表示します。



(1) [Start]ボタン

クリックすると、クリックした時刻を開始時刻に設定したスケジュールが登録され、転送が開始されます。 スケジュール名は[Settings]ダイアログの[Schedule Name Set]-[Start Now Rule]で設定した名 前が登録されます。

転送先は、このポートの[+](新規ポートスケジュール)ボタンまたはスケジュールのコンテキストメニューの[Edit]から表示した[Schedule]ダイアログで、1つ前に設定した[Destination]の情報が登録されます。

ご注意

現在時刻を含むスケジュールがある場合、クリックしても作動しません。

(2) [Stop]ボタン

現在時刻を含むスケジュールがある場合にクリックすると、クリックした時刻が終了時刻に設定されます。 終了時刻が設定済みのスケジュールは終了時刻を変更します。

(3) サーバーで記録可能な残り時間 ポートの残り時間を表示します。プロキシポート設定を行った場合、プロキシポートの残り時間は表示され ません。

操作手順

スケジュールを登録、転送する

未来または過去の時間を指定してスケジュールを登録、転送できます。

- 設定対象のポートを複数選択する場合は、対象ポートのポート選択チェックボックスをオンにして、タイムラ インヘッダーの[+](新規スケジュール)ボタンをクリックする。設定対象のポートが1つの場合は、対象 ポートの[+](新規ポートスケジュール)ボタンをクリックする。
 [Schedule]ダイアログが表示されます。
- スケジュール名を設定する。
 [Name]でスケジュール名を編集できます。(上限 32 文字)
- 3. 日付と時刻を設定する。

[Day]、[Start]、[End]で日付と開始/終了時刻を設定します。デュレーションは自動的に表示されま す。[Dur]を直接編集するとデュレーションに合わせて[End]の時刻が変更されます。

[End]に設定できる上限は、次のうち最も早い時刻です。

- 次のスケジュールの開始時刻の直前の時刻
- サーバーの残り容量で記録できる上限の時刻
- 設定したメンテナンス開始の直前の時刻
- サーバーがループ記録を開始してから 24 時間目の時刻(最大記録可能時間)

[End]を設定しなくてもスケジュールの登録はできます。

その場合、[End]に設定できる上限の時刻が終了時刻として設定されます。

- 設定対象ポートを設定する。
 [Ports]リストには本ソフトウェアと接続しているサーバーが表示され、設定対象となるポートのチェックボックスがオンになっています。このチェックボックスで設定対象のポートを変更、追加することができます。
 また、プロキシポート設定を行ったポートは、ポート名の横にプロキシポート名が表示されます。
- 5. 転送先の Media Gateway とドライブを設定する。 [MGW]ドロップダウンリストで転送先の Media Gateway を選択します。[Destination]ドロップダウンリ ストでドライブ、ツリーエリアでフォルダーを選択して、[Set]ボタンをクリックします。 プロキシデータの転送を行う場合は、[With Proxy]チェックボックスをオンにして、転送先のドライブとフォ ルダーを選択してください。

○(更新)ボタンをクリックすると Media Gateway またはドライブの情報が更新されます。
 [Settings]ダイアログの[MGW Folder]チェックボックスをオフにした場合は、フォルダーを設定できません。

詳しくは、「設定」(18ページ)を参照してください。

[OK]ボタンをクリックする。
 スケジュールの登録が完了し、タイムライン上にスケジュール情報が表示されます。
 未来の時間を指定して登録したスケジュールは、設定した開始時刻になると転送が開始されます。

過去の時間を指定して登録したスケジュールは、スケジュールの登録が完了した時点で転送が開始されま す。

ご注意

- マスターTCに設定されているポートは、記録を停止しないでください。マスターTCに設定されているポートが記録停止中の ときは、本ソフトウェア上の現在時刻が進行しません。
- 次のようなスケジュールはエラーとなり、スケジュールの登録を完了することができません。
 - 既存のスケジュールまたはメンテナンススケジュールと重なるスケジュール
 - 過去の時間帯でサーバー上に素材がない時刻に作成したスケジュール
 - 現在のループ記録の記録開始地点から24時間目の地点のタイムコードがデュレーションに含まれているスケジュール
- ループ記録中のポートが次の状態になった場合に記録が停止します。スケジュールがある場合は、記録が停止したところ まで転送が行われます。
 - 最大記録可能時間に達した
 - 残り容量がなくなった
- ループ記録中に TC jump が発生すると、本アプリケーションは正しく動作しません。

現在時刻からスケジュールを登録、転送する

現在時刻を開始時刻としたスケジュールを登録、転送できます。あらかじめ、次の設定をしてください。

- 転送先:対象ポートの[+](新規ポートスケジュール)ボタンまたはコンテキストメニューの[Edit]で[Schedule]
 ダイアログを表示してスケジュールを登録してください。その際に登録した転送先に転送します。
- スケジュール名: [Settings]ダイアログの[Schedule Name Set]-[Start Now Rule]でスケジュール名を 設定してください。ここで設定したルールに従ってスケジュール名が登録されます。
- 対象ポートのコントロールパネルの[Start]ボタンをクリックする。 クリックした時点を開始時刻に、[End]に設定できる上限の時刻を終了時刻にしたスケジュールが登録され、転送が開始します。
 [End]に設定できる上限の時刻については、「スケジュールを登録、転送する」の「日付と時刻を設定する。」(13ページ)を参照してください。
- コントロールパネルの[Stop]ボタンをクリックする。
 ボタンをクリックした時刻が終了時刻に設定されます。

ご注意

現在時刻を含むスケジュールがある場合、現在時刻からのスケジュールの登録、転送はできません。

スケジュールの転送を中止する

転送中のスケジュールを中止します。

- 1. 転送中のスケジュールを右クリックする。
- 表示されたコンテキストメニューの[Stop]をクリックする。
 確認ダイアログが表示され、[OK]ボタンをクリックすると転送を中止します。転送中止の処理が完了すると
 転送ステータスが[Cancelled]になります。

ご注意

- 転送ステータスが[In-Progress]の場合のみ、スケジュールの転送を中止できます。
- 転送状況によっては、転送を中止した時点までのデータが転送先のドライブまたはフォルダーに残る場合があります。

過去のスケジュールを編集、再転送する

転送完了または転送中止、転送エラーとなった過去の時間帯にあるスケジュールを編集、再転送することができます。

- 1. 編集、再転送するスケジュールを右クリックする。
- 2. 表示されたコンテキストメニューの[Edit]をクリックする。
- 表示された[Schedule]ダイアログの項目を、必要に応じて編集する。
 過去の時間帯のスケジュールに対しては、スケジュール名と転送先(プロキシデータの転送先も含む)のみ 編集することができます。

項目の設定方法については、「スケジュールを登録、転送する」(13ページ)を参照してください。

4. [OK]ボタンをクリックする。
 編集したスケジュールの登録が完了し、タイムライン上のスケジュール情報が更新され、再転送が実行されます。

ご注意

- 転送ステータスが次の場合のみ、スケジュールを再転送することができます。
 - [Completed], [Cancelled], [Transfer Error]
- サーバー上に素材がない場合、再転送はできません。
- サーバー上にプロキシデータの素材がない場合、[With Proxy]チェックボックスはオフとなり編集することができません。

現在時刻を含むスケジュールの終了時刻を編集する

現在転送中または転送中止、転送エラーとなった現在時刻を含むスケジュールの終了時刻を編集することができます。転送中止、転送エラーの場合は再転送することができます。

- 1. 編集するスケジュールを右クリックする。
- 2. 表示されたコンテキストメニューの[Edit]をクリックする。
- 表示された[Schedule]ダイアログの項目を編集する。
 終了時刻とデュレーションのみ編集することができます。
 終了時刻の設定可能範囲は、手順4で[OK]ボタンをクリックした時刻より30秒以上未来の時刻から、
 [End]に設定できる上限の時刻までです。
 [End]に設定できる上限の時刻については、「スケジュールを登録、転送する」の「日付と時刻を設定する。」(13ページ)を参照してください。
 項目の設定方法については、「スケジュールを登録、転送する」(13ページ)を参照してください。
- [OK]ボタンをクリックする。
 編集したスケジュールの登録が完了し、タイムライン上のスケジュール情報が更新されます。
 ステータスが[Cancelled]、[Transfer Error]の場合は、再転送が実行されます。

ご注意

転送ステータスが次の場合のみ、終了時刻を変更することができます。

- [Waiting], [In Progress], [Cancelled], [Transfer Error]

未来のスケジュールを編集する

未来の時間を指定しているスケジュールを編集することができます。

- 1. 編集するスケジュールを右クリックする。
- 2. 表示されたコンテキストメニューの[Edit]をクリックする。
- 表示された[Schedule]ダイアログの項目を編集する。
 スケジュール名、日付、時刻、転送先(プロキシデータの転送先も含む)のみ編集することができます。
 項目の設定方法については、「スケジュールを登録、転送する」(13ページ)を参照してください。
- [OK]ボタンをクリックする。
 編集したスケジュールの登録が完了し、タイムライン上のスケジュール情報が更新されます。

ご注意

転送ステータスが[Scheduled]の場合のみ、スケジュールを編集することができます。

スケジュールを削除する

スケジュールを削除することができます。

- 1. 削除するスケジュールを右クリックする。
- 2. 表示されたコンテキストメニューの[Delete]をクリックする。
- 表示された確認ダイアログの[OK]ボタンをクリックする。
 スケジュールの削除が実行されます。

ご注意

- 転送ステータスが次の場合、スケジュールを削除することはできません。削除する場合は、転送を中止するか[Stop]ボタンをクリックして転送を終了させてください。
 - [In-Progress]
 - 現在時刻を含むスケジュールで[Cancelled]、[Transfer Error]、[Rec Error]
- スケジュールを削除しても、サーバー上のクリップは削除されません。

設定

[Settings]ダイアログでは、PRC Manager の登録とスケジュール登録時のデフォルト値の設定を行います。 [Settings]ダイアログは、メニューバーの[Tools]-[Settings]から表示できます。

[PRCM IP]

PRC Manager を登録します。

PRC Manager の IP アドレスとポート番号を入力します。

登録を有効にするには、設定後に本ソフトウェアを再起動する必要があります。

[MGW Folder]チェックボックス

[Schedule]ダイアログの Media Gateway フォルダー欄の有効/無効を設定します。

•オン:フォルダー欄での編集を有効にします。

•オフ:フォルダー欄での編集を無効にします。

[Default Start Point]

[Schedule]ダイアログの[Start]にデフォルトで表示する時刻を選択します。

- [Blank]: 開始時刻を空欄にします。
- [Current TC]: [Schedule]ダイアログを表示させた時刻を表示します。

[Date]

本ソフトウェアの現在日付を設定します。

本ソフトウェアの初回起動時は、PCの日付情報を取得して現在日付を設定しています。現在日付は、前後 1日ずつ変更して設定することができます。

[Date]のリストボックスから現在日付に設定する日付を選択します。

[Schedule Name Set]ドロップダウンリスト

[New Schedule Rule]と[Start Now Rule]のデフォルト名の設定をセットにして保存します。

デフォルト名の設定のセットは最大で10セット保存できます([Set1]~[Set10])。

一度保存したセットをドロップダウンリストから選択して切り替えることができます。

[New Schedule Rule]

タイムラインヘッダーまたは各ポートの[+](新規スケジュール)ボタンから登録するスケジュールのデフォ ルト名を設定します。(上限 32 文字)

テキストボックスにテキストまたは変数を入力します。変数は、実際のスケジュールでポート名や日時に変換 されます。

変数を利用する場合は、リストボックスから次の変数名をダブルクリックします。

- %CAMLBL%:ポートパネルに表示されているポート名
- %CDATE%:スケジュールの開始日を yyyymmdd 形式で表示
- %TCIN%:スケジュールの開始時刻をhhmmssff形式で表示

ご注意

変数名を変換した結果、スケジュール名が上限の 32 文字を超えてしまった場合は、32 文字目以降の文字は自動的 にカットされます。

[Start Now Rule]

[Start]ボタンから登録するスケジュールのデフォルト名を設定します。(上限 32 文字) [New Schedule Rule]と同様に、テキストボックスにテキストまたは変数を入力します。

[OK]ボタンをクリックすると、設定が完了します。

メンテナンス

メンテナンスは、サーバーの空き容量を確保するため定期的に(前回のメンテナンスから 24 時間以内)に実行す る必要があります。本ソフトウェアでスケジュールを削除したり、PRC Manager でクリップを削除しただけでは サーバーの空き容量は回復しません。

メンテナンスはメニューバーの[Tools] – [Maintenance]から設定します。メンテナンスの処理時間は約10秒です。

メンテナンスを実行すると、サーバーは記録を中止して[Recover storage capacity]機能を実行します。メンテ ナンスが終了すると、自動的にサーバーの記録が再開します。

[Recover storage capacity]機能については、サーバーの取扱説明書をご覧ください。

[Maintenance Time]

メンテナンスを開始する時刻を「hh:mm:ss」(時:分:秒)形式で入力し、[Set]ボタンをクリックします。 設定したメンテナンススケジュールは、接続しているすべてのサーバーのポートのタイムラインに現在時刻 以降、毎日表示されます。

[Maintenance Now]ボタン

クリックすると、クリックした時点からメンテナンスを開始します。

ご注意

- 設定したいメンテナンスの処理時間が、既存のスケジュールの時間帯と重なる場合、その時刻を設定することはできません。
- 現在時刻を含むスケジュールがある場合、[Maintenance Now]ボタンからメンテナンスを実行することはできません。

付録

商標について

本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標または商標です。なお、本文中 では、®、™マークは明記していません。

LGPL適用ソフトウェアの入手について

本製品は、LGPL 適用ソフトウェアとして Qt を使用しており、お客様には、ソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせします。ソースコードの入手方法については、ソニーの営業担当者また はサービス担当者にお問い合わせください。なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。